

在ホノルル日本国総領事館便り

2024年6月号

Vol.2

公邸料理人：伊藤シェフの味覚の冒険



こちらの前菜プレートは、アワビの柑橘和え、茄子と生姜のマリネ、鳥胸肉とトマトのタルタル、アスパラガスの大根おろしと紫蘇添えです。
食卓に出した時の見栄えも華やかに、お客様に喜んで頂けるよう心がけています！



6月のスナップショット

『「世界津波の日」2024高校生サミットin熊本』へハワイ州の高校生代表が参加決定



ハワイ州立ワイアレア高校代表団が10月に熊本県内で開催される『「世界津波の日」2024高校生サミット in 熊本』に参加することが決定しました。2015年に国連総会で11月5日を「世界津波の日」と制定する決議が採択されました。翌2016年から高校生サミットが始まり、これまでに高知県、沖縄県、和歌山県、北海道、新潟県で開催されています。サミットには世界約50か国の高校生が参加し、自然災害の脅威や対策を学び、交流を通じてお互いの絆を深めます。今年のサミットは、熊本地震や集中豪雨など大規模自然災害を経験した熊本で開催され、命を守る対策と創造的復興について学びます。

茨城県境町代表団による児玉総領事への表敬訪問



6月3日、児玉総領事は、茨城県境町の倉持町議会議長一行による表敬訪問を受けました。境町は、ホノルル市と2018年に友好都市関係を、2021年には姉妹都市関係を締結し、ホノルル市が認定した「境町の日（6月4日）」に合わせ、例年ワイキキビーチで花火大会を開催しています。その他、特に教育・スポーツの分野でホノルル市との交流を深めているほか、昨年8月に発生したマウイ島の大規模山火事に際し、災害復旧支援のためホノルル市を通じて1万ドルの寄附をしました。

太平洋アジア評議会の高校生訪日研修旅行のオリエンテーション



ホノルルに拠点を置く教育系NPO、太平洋アジア評議会（PAAC）が、ハワイの若者の国際交流を促進することを目的に高校生の訪日研修旅行を実施しました。6月3日に行われた事前オリエンテーションでは、当館広報文化班の大川領事が、日本のホームステイでの心得や日本食マナーについて講義を行いました。生徒たちは熱心に耳を傾け、お辞儀の仕方、お箸の持ち方などを練習しました。PAACの訪日研修旅行は、ハワイの高校生にとって、日本の文化や習慣に触れ、日本に対する理解を深める重要な機会となります。

日・ハワイの学生による料理コンテスト



6月7日、カピオラニ・コミュニティ・カレッジ（KCC）で、日・ハワイの学生による料理コンテストが開催され、公邸料理人の伊藤シェフが審査員として参加しました。この料理コンテストは福岡県とハワイ州との姉妹提携に基づく交流事業の一環として実施され、食に関する分野を専攻する福岡県の学生がハワイ州に派遣され、KCCでの講義・調理実習や農園訪問等を通してハワイの食文化を学びました。伊藤シェフは、学生たちが言語の壁を乗り越えて、短時間で素晴らしい料理を作り上げたことに感心し、今後も新しい挑戦に取り組んでほしいと激励しました。

児玉総領事がまつりインハワイに参加



6月7日から9日にかけて、太平洋を越えた友情と文化の祭典「まつり イン ハワイ」（第41回パンパシフィックフェスティバル）が5年ぶりに開催され、児玉総領事がオープニングセレプションに参加しました。この祭典は、太平洋を挟んだ国々間の国際親善と相互理解を深めること、友好関係を強化すること、そして文化的多様性を祝うことを目的として始まり、今年はダンスや様々なパフォーマンスが繰り広げられました。

児玉総領事がハワイ島を訪問



6月19日から20日にかけて、児玉総領事は着任後初めてハワイ島を訪問しました。ロス郡長他のハワイ郡当局関係者、ヒロ及びコナの日系人コミュニティのリーダー、ハワイ島日本人商工会議所（JCCIH）関係者、日本と関係のある企業関係者など多くの方々と意見交換を行い、ハワイ島と日本のつながりやハワイ島の日系人の方々の歴史と活動について深く知る機会となりました。関係者の皆様、ありがとうございました。



当館のHPとSNS
をぜひご覧ください！



JP Consulate HP



Instagram



X (Twitter)



Facebook